

令和3年度 第1回浜松市医療的ケア児等支援協議会

日時：令和3年7月16日（金）
午後2時から
会場：浜松市役所3階 32会議室

次 第

1. 開会

2. 議題

(1) 医療的ケア児等支援コーディネーター活動実績報告 資料1

(2) 全数把握調査について 資料2

(3) 令和2年度実施医療的ケア児を持つ保護者への意見を伺う会報告

資料3

(4) その他

・令和3年度医療的ケア児等支援者養成研修について

3. 閉会

浜松市医療的ケア児等支援協議会 委員名簿

外部委員

(敬称略)

所 属		氏 名	備 考
	浜松医科大学	福田 冬季子	Zoom参加
	聖隷クリストファー大学	宮谷 恵	Zoom参加
会長	浜松市発達医療総合福祉センター はままつ友愛のさと	遠藤 雄策	
	総合病院 聖隷浜松病院 総合周産期母子医療センター新生児科	大木 茂	
	浜松市訪問看護ステーション連絡協議会	尾田 優美子	Zoom参加
	岡崎内科医院	岡崎 貴宏	Zoom参加
	県立西部特別支援学校	八幡 正信	
	総合病院 聖隷三方原病院 聖隷おおぞら療育センター	沖村 宏美	
	浜松地区肢体不自由児親の会	里 あゆ子	
	在宅医療ケアのある子を持つ親の会	清水 恵美	
	浜松市中障がい者相談支援センター	梶村 美由紀	
	相談支援事業所アグネス	鈴木 崇之	
副会長	浜松市障がい者基幹相談支援センター	雨宮 寛	

庁内委員

課 名		氏 名	備 考
学校教育部	指導課	石川 博則	
健康福祉部	健康増進課	平野 由利子	
こども家庭部	幼児教育・保育課	松下 直樹 代理：井川 宜彦	
こども家庭部	子育て支援課	小山 東男	
健康福祉部	健康医療課	島 和之	

事務局

課 名	氏 名
浜松市社会福祉事業団	阿部 祥美
健康福祉部 障害保健福祉課	久保田 尚宏
	仲井 俊二
	柴田 多美子
	山内 愛美

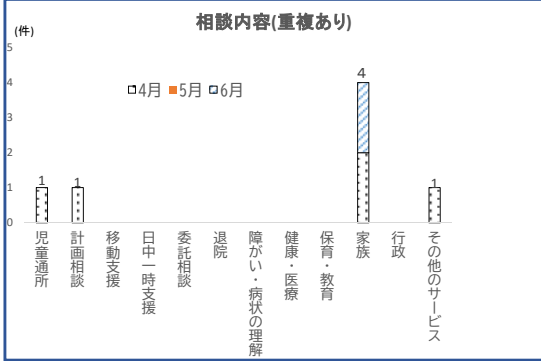
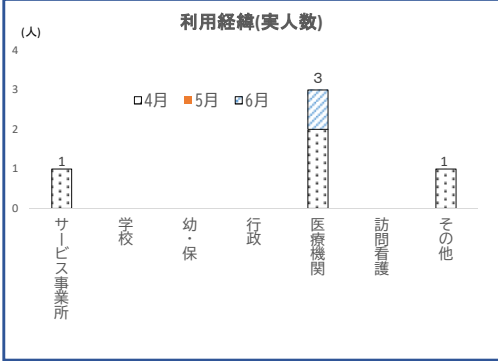
浜松市医療的ケア児等コーディネーター 実績報告 (2021年4～6月)

第1回医ケア協議会 2021年7月16日
浜松市発達医療総合福祉センター 相談支援事業所シグナル 阿部祥美



相談業務 ～本人、家族からの相談～

[相談件数] 4月4件、5月0件、6月2件(延べ件数)



相談内容：コロナ疎開での児童発達支援事業所の利用、退院後の福祉サービス利用に伴う計画相談
医ケア児のきょうだい相談、重心児のきょうだい支援

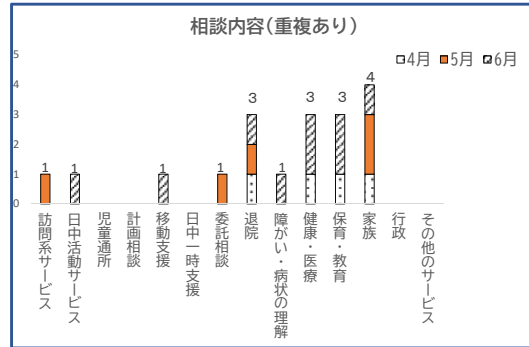
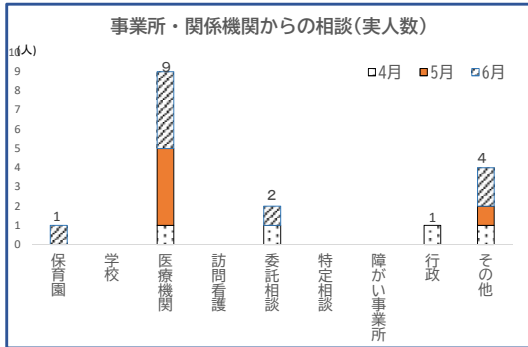


相談業務

[相談件数]

～事業所、関係機関からの相談～

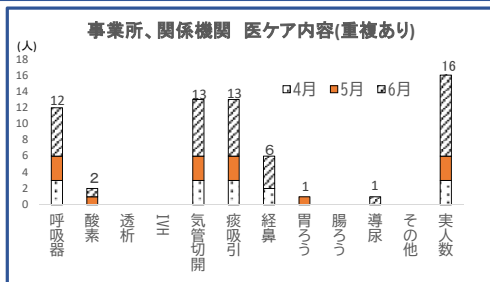
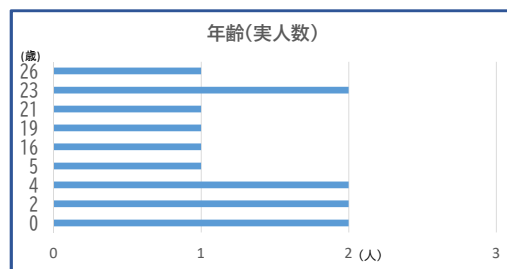
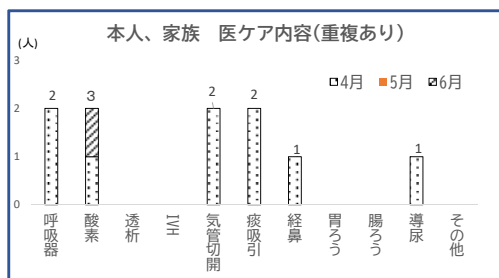
4月4件、5月5件、6月9件(延べ件数)



相談内容：退院前カンファレンス、退院後の在宅生活支援、退院する家族支援、サービス事業所の充実
 医ケア児の就園先・就学相談、保育園での医ケア児の支援、医ケア児の進路相談
 新事業所立ち上げについての情報共有、サービス担当者会議での情報共有、コロナワクチン接種

相談業務

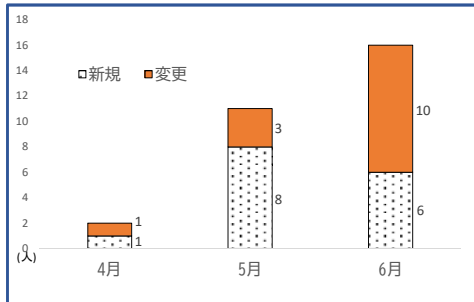
～医ケア内容・年齢～



0～11か月 2人 退院
 2歳 2人 就園、きょうだい支援
 4～5歳 3人 就園、就学
 16歳 1人 進路
 19歳～ 7人 退院、在宅生活

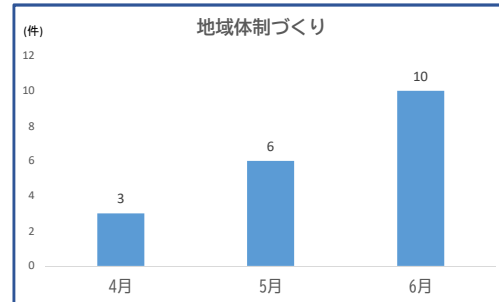
医ケア名簿管理

医療的ケア児者名簿登録



安否確認システムへの登録推進・・・課題
発災時以外の医ケア児者名簿の活用の検討

地域体制づくり



浜北天竜エリア合同部会～特支卒業後の進路～
保育園での医ケア児支援、当事者団体との意見交換
ご挨拶(医療機関、各委託相談、児発連絡会、各法人等)

医療的ケア児等全数把握調査について

1. 対象者

浜松市在住、在宅で生活している医療的ケア児者

2. 情報提供同意者数

1,889人 (R3.5.31時点)

3. 内訳 (R3.5.31現在)

年齢	実人数	医療的ケア内容 (延人数)							
		人工 呼吸器	在宅 酸素	吸引	気管 切開	導尿	輸液 ポンプ	経管 栄養	透析
0～2歳	28	5	11	12	4	1	0	15	0
3～6歳	29	11	16	22	5	0	0	21	0
7～17歳	86	18	28	48	8	8	3	48	0
18～64歳	454	45	57	69	21	8	5	45	292
65歳以上	1,292	23	280	73	33	5	1	25	800
計	1,889	102	392	224	71	22	9	154	1,092

※上記以外の医療的ケア:インシュリン注射、吸入、ストマ、在宅持続陽圧呼吸療法等

4. 新規ケース把握について

- ・NICUのある市内基幹病院へ案内チラシを配架、または医療相談室等から案内チラシ等を配布 (一部調整中)
- ・特定相談支援事業所が対象者を把握した際、案内チラシ等を配布
- ・市内訪問看護ステーションへの「訪問看護の情報提供書」提供依頼継続
- ・各区社会福祉課にて手帳や医療等に関する手続きの際、対象者へ案内チラシ等を配布

5. 令和3年度情報提供書兼同意書受付状況(R3.5.31時点)

新規：13件

更新：4件

令和2年度第2回医療的ケア児を持つ保護者への意見を伺う会

資料3

作成：障害保健福祉課

開催日時	令和3年3月12日 午前10時30分～午前11時45分
開催場所	浜松市役所北館 101, 102会議室 (Zoomを使ったWeb開催と併用)
出席者	会場参加 6名、Zoom参加 5名 (医療的ケア児者、重心児者の保護者10名、施設職員1名) 幼児教育・保育課 2名 事務局 障害保健福祉課 2名
プログラム	① 自己紹介 ② 医療的ケア児等全数把握調査について ③ 災害時支援について ④ 福祉サービスについて ⑤ 浜松市の医療的ケア児等支援に関する取り組み ・医療的ケア児等支援者養成研修 ・浜松市障がい者自立支援協議会浜北天竜エリア連絡会について ⑥ 医療的ケア児等コーディネーターについて
内容	<p>○医療的ケア児等全数把握調査について ※資料を元に事務局より説明</p> <p>○災害時支援について (事務局より) ・相談支援専門員がサービス等利用計画を立てる中で、災害時個別支援計画を立てていく予定。相談支援専門員と災害時を含めた緊急時の対応について状況確認をしていただきたい。 ・計画作成の対象者は、人工呼吸器(常時使用)、在宅酸素(常時使用)を受けている方を優先して行う。</p> <p>○障害福祉サービスについて ※資料を元に事務局より説明 <ご意見> ・医療的ケア児等の対応ができる施設は地域によって偏りがある。浜松市としてその対応ができないか。 ⇒(事務局) サービス事業所の地域偏在に関する課題は把握しているが、医療的ケア児等の対応ができる事業所が足りていないため、まずは対応できる事業所を増やす取り組みを優先している。</p> <p>○浜松市の医療的ケア児等支援に関する取り組み ※資料を元に事務局より説明 <ご意見> ・浜北天竜エリア連絡会での取り組みを市全体に広げていけないか。 ⇒(事務局) 浜松市障がい者自立支援協議会は、障がい者の支援体制整備に向けて協議をする場。5つのエリア連絡会(中、西南、東、北、浜北天竜)において地域課題抽出等の活動を行っている。浜北天竜エリア連絡会の活動は、協議会</p>

の中核を担う企画会議にて報告されることから、同じような課題を抱えているエリア連絡会があれば活動が広がっていく可能性もある。

○医療的ケア児等コーディネーターについて

<ご意見>

- ・病院だけではなく、おおぞら療育センターとも連携してほしい。
- ・コーディネーターの資格要件はあるか。
⇒（事務局）医療と福祉の経験がある者が対応することとしている。
- ・コーディネーターは何人ぐらいの配置となるのか。
⇒（事務局）まずは1人を配置し、地域の実態を把握することから始めていく。
- ・コーディネーター1人の配置では、負担が大きいのではないか。
⇒（事務局）コーディネーターは地域全体の支援体制を整えていく役割もあるため、コーディネーター1人だけで対応するのではなく、計画相談支援事業所等をコーディネーターが支援しながら対応していく。
- ・医療的ケア児等の退院後、保護者が福祉分野の支援者とつながるまでに時間がかかっていると感じる。そのため、必要な福祉サービス等につながるには、保護者が動くしかない現状がある。退院時に保護者が必要な機関や支援者につながるように保護者向けのチラシなどがあると良い。
- ・コーディネーターはどのような相談に関して対応してくれるのか。
⇒（事務局）どのようなサービスを受けたらよいかわからない、担当の相談員に話してもうまくわかってもらえないなど、当事者や保護者が困っていること等に対応する。
- ・コーディネーターには保護者の意見をきちんと吸い上げてほしい。
⇒（事務局）コーディネーターが相談の中で把握した課題は、市とコーディネーターの打ち合わせの際に共有、医療的ケア児等支援協議会へ報告していく。
- ・計画相談支援事業所の関わりがない場合、コーディネーターへ相談すれば良いか。
⇒（事務局）そのとおり。
- ・福祉サービスを利用する場合、保護者自らが施設へ連絡し、受け入れに関して相談していることが多い。コーディネーターには新規施設の開所状況や施設の空き状況等のハード面の情報を持ってほしい。浜松市は施設状況等のハード面の整理をすると共に、コーディネーターとハード面に関して情報共有してほしい。
- ・コーディネーターには制度のことにしても最新の情報を持ってほしい。
⇒（事務局）月に1回コーディネーターとの打ち合わせを行っていく中で、制度やサービスに関する情報などの共有も行っていく。

○その他

<ご意見>

- ・後天的に医療的ケア児、重心児となった場合、県外の病院に受診していることが多い。そのような場合、どの支援機関にもつながることができず浜松に戻ってきて在宅生活が始まってしまう現状があることを知ってほしい。
- ・成人に対応している医師や看護師にも、在宅医療や在宅支援に関して対応できるようにしてほしい。

備考